



シカの食害は甚大です

有害鳥獣対策、捕獲頭数、令和3年度シカ3341頭と最多、令和4、5年度と減少している。シカの生息数が減少したものの、ほかに要因があるのか、



ひがしがきのりお 東垣 典雄 議員

## シカの捕獲頭数が減少 その対策は捕獲体制の充実と支援を行います

その対策は

るのかを問う。

①現状をどう捉えるか。

②但馬地域鳥獣被害対策協議会の活動は。

③県の事業、指定監理鳥獣（二ホンジカ）捕獲等委託事業の取組は。

町長

①令和3年度

捕獲頭数が多かった要因は、シカの生息頭数が多

かったことと大雪が幸いし冬季の狩猟による捕獲

頭数が多かったことです。

捕獲頭数の減少は、3年度の多くの捕獲に加え大雪

による自然死もあり生息頭数が少なからず減少し

ていると考えます。

②対策協議会の活動についてシカ部会は、豊岡市境

の本見塚、土生間で捕獲活動を行いました。

③県が委託した民間事業者が標高の高い場所など



で捕獲活動をします。

本年度も基幹林道三川線周辺で捕獲活動を行います。



# 町政を問う!

## 一般質問

6月定例会での一般質問は11人の議員が町政全般について質問を行いました。

一般質問は、議員が町政全般について執行状況や将来に対する考え方など、現状方針を問うものです。

議員一人当たりの持ち時間は、町長の答弁を除き30分以内と決められています。

内容については、議員本人が執筆(要約)したものを掲載しています。

(※QRコードでそれぞれの様子を視聴できます。)